

# 平成 30 年度 家庭教育に関する 調査研究報告書



栃木県PTA連合会

# 目 次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| ごあいさつ                         | 1  |
| I アンケート調査の概要                  | 2  |
| 1 栃木県内25校のPTA会員向けアンケート        | 3  |
| 2 子育てセミナー2018参加者向けアンケート       | 5  |
| II アンケート結果                    |    |
| 栃木県内25校のPTA会員を対象とした調査結果       |    |
| 1 調査人数とお子さんの学年、お子さんの性別        | 6  |
| 2 お子さんは朝ごはんを食べますか             | 7  |
| 3 主にどのような内容の朝ごはんを食べますか        | 8  |
| 4 朝食を主に誰と一緒に食べますか             | 9  |
| 5 お子さんの平日の起床時間は何時が多いですか       | 10 |
| 6 お子さんは登校する何分前に起きていますか        | 11 |
| 7 お子さんの平日の就寝時間は何時が多いですか       | 12 |
| 8 お子さんが学習に取り組んでいる平均時間         | 13 |
| 9 お子さんはネットトラブルに巻き込まれたことがありますか | 14 |
| 10 PTAの取り組み事業として関心をお持ちなのは何か   |    |
| (1) 基本的生活習慣・家庭教育              | 15 |
| (2) 携帯電話・インターネット              | 16 |
| (3) 安全・安心                     | 17 |
| (4) いじめ問題                     | 18 |
| (5) 不登校・ひきこもり                 | 19 |
| III 子育てセミナー2018の参加者を対象とした調査結果 |    |
| 1 講演の内容                       | 21 |
| 2 調査人数とお子さんの学年                | 22 |
| 3 お子さんは専用の携帯電話をお持ちですか         | 22 |
| 4 利用しているSNSや機能は何ですか           | 23 |
| 5 いつごろ持たせようと思いますか             | 23 |
| IV 「いい親の日」宣言                  | 25 |

# ご あ い さ つ

栃木県PTA連合会会長 金田 淳

はじめに、調査研究のためにアンケートをご協力いただきました県内の会員の皆様に対し、厚く御礼を申し上げます。本アンケートは、県内25市町の会員の皆様、また、子育てセミナーご参加いただいた方々に回答をいただいております。ありがとうございました。

「子育てセミナー2018」はレモンさんこと山本シュウ氏にお招きし、「レモンさんが伝える“カッコいい大人”愛言葉は“**We are シンセキ!**”」と題してご講演をいただきました。レモンさんの軽快なトークは、会場すべての人たちを、あっという間に虜にしてみました。時折見せる冗談めいた話や表情とはうらはらに、子育てをしている親に対する真剣な言葉は、多くの方々に勇気や自信を与えてくれました。

本アンケートの結果をみると、近年スマホやタブレット、ゲーム機などの普及により、子ども達の生活習慣が大きく乱れていることが分かります。今後ネット環境はさらに広がっていくと予想されており、子どもたちが安全安心で、健やかに成長し生活していくためには、家庭教育が非常に大きい役割を担うものと思われます。

栃木県PTA連合会のスローガンは「子どもと共に学び成長するPTA」です。子の第一義的責任は私たち親または保護者にあります。多様化する時代に合わせ、子育てをしていくためには、私たちの学びは必要不可欠です。これからも本会は時代の変化に対応した情報を収集し発信活動をするとともに、研修の機会を提供してまいります。本報告書が生活環境の改善・充実につながるよう期待しております。

最後に、調査研究報告書の作成にご尽力いただきました本会の教育課題委員会の皆様をはじめ、関係各位に改めて深く感謝申し上げます。

# I アンケート調査の概要

## 1 目的

栃木県PTA連合会の基本方針である「子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせ、学校教育の更なる充実のために支援する体制を確立する」ために、"早寝 早起き 朝ごはん" の 国民運動を推進して、状況を把握し、並びに基礎資料として情報提供するとともに、保護者自らが子どもと一緒に生活習慣を振り返ることを目的としています。

## 2 調査対象者

(1) 平成30年度 栃木県内PTA会員 協力25校

### 【調査協力校一覧】

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 宇都宮市立一条中学校  | 上三川町立本郷中学校  | 鹿沼市立栗野中学校   |
| 日光市立湯西川小中学校 | 真岡市立真岡東中学校  | 益子町立七井小学校   |
| 茂木町立茂木中学校   | 市貝町立市貝中学校   | 芳賀町立芳賀南小学校  |
| 壬生町立安塚小学校   | 野木町立野木中学校   | 小山市立羽川西小学校  |
| 栃木市立栃木第五小学校 | 下野市立吉田東小学校  | 矢板市立片岡中学校   |
| さくら市立氏家小学校  | 塩谷町立塩谷中学校   | 高根沢町立東小学校   |
| 那須烏山市立江川小学校 | 那珂川町立馬頭中学校  | 大田原市立大田原小学校 |
| 那須町立高久小学校   | 那須塩原市立鍋掛小学校 | 佐野市立西中学校    |
| 足利市立富田中学校   |             |             |

(2) 平成30年11月8日(木)開催「子育てセミナー2018」参加者

## 3 調査方法

調査票は、P3・P5の2種類を使用

## 4 調査期間

平成30年11～12月

## 5 調査機関

栃木県PTA連合会 教育課題委員会

# (1)平成 30 年度 栃木県内25校のPTA会員に向けたアンケート調査票

問 1 在学している一番下のお子さんについてお聞きします。お子さんは、何年生ですか？

小学校 ① 1年生～3年生（男 女） ② 4年生～6年生（男 女）  
 中学校 ① 1年生（男 女） ② 2年生（男 女） ③ 3年生（男 女）

問 2 問 1 で回答したお子さんは、朝ごはんを食べますか？（1 つに○）

※スナック菓子・サプリメントは含まない

① 毎日食べる ② 時々食べる ③ ほとんど食べない

問 3 問 1 で回答したお子さんは、主にどのような内容の朝ごはんを食べていますか？（1 つに○）

※週に 3 日以上食べている項目に「○」を、食べていない項目が「×」です  
 当てはまるパターン、アからケに「○」を付けてください

|                  | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ   |
|------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|
| ① 主食(ご飯・パン・シリアル) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | その他 |
| ② 主菜(卵・肉・魚類など)   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |     |
| ③ 副菜(野菜類など)      | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × |     |
| ④ 汁物(味噌汁・スープ類)   | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × |     |
| ⑤ 牛乳・ヨーグルトなど     | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ |     |
| ⑥ その他(菓子パンなど)    | ○ | × | × | × | × | × | × | × |     |

問 4 問 1 で回答したお子さんは、朝食を主に誰と一緒に食べますか？（1 つに○）

① 家族と一緒に ② 兄弟姉妹だけで食べる ③ ひとり

問 5 問 1 で回答したお子さんの平日の起床時間は何時が多いですか？（1 つに○）

① 午前 6 時前 ② 午前 6 時～7 時 ③ 午前 7 時～8 時 ④ 午前 8 時過ぎ

問 6 問 1 で回答したお子さんは登校する何分前に起きていますか？（1 つに○）

① 30 分前 ② 1 時間前 ③ 1 時間半前 ④ 2 時間以上前

問 7 問 1 で回答したお子さんの平日の就寝時間は何時が多いですか？（1 つに○）

① 午後 8 時前 ② 午後 8 時～9 時 ③ 午後 9 時～10 時  
 ④ 午後 10 時～11 時 ⑤ 午後 11 時過ぎ

問 8 問 1 で回答したお子さんが毎日、家庭、塾等で学習に毎日取り組んでいる平均時間は、どのくらいですか？（1 つに○）

① 全然行わない ② 30 分未満 ③ 1 時間未満 ④ 1.5 時間未満  
 ⑤ 2 時間未満 ⑥ 3 時間未満 ⑦ 3 時間以上

問 9 お子さんはネットトラブルに巻き込まれたことがありますか？

- ① ある                      ② 巻き込まれそうになった                      ③ ない

問 10 PTAの取り組み事業として関心をお持ちなのは何ですか？  
(各ジャンルから気になるものに○ 複数可)

●基本的生活習慣・家庭教育

- ① 食事      ② 睡眠      ③ 学校生活      ④ 友人関係      ⑤ 学力向上      ⑥ しつけ  
⑦ 親子の時間

●携帯電話・インターネット

- ① メール      ② SNS (LINE ツイッターなど)      ③ フィルタリング  
④ オンラインゲーム

●安全・安心

- ① 通学路      ② 不審者      ③ 地域連携      ④ 自然災害

●いじめ問題

- ① 研修・講演会・調査      ② ネットいじめ      ③ 道徳、モラル      ④ 学校での指導・対策

●不登校・ひきこもり

- ① 研修・講演会・調査      ② 家庭での対応      ③ 学校での指導・対策

## (2) 11月8日(木)開催の「子育てセミナー2018」参加者に向けた調査票

### 《お子様について》

現在、小・中学校に在籍の一番上のお子様は何年生ですか？

- ①小学校 1-2 年 ②小学校 3-4 年 ③小学校 5-6 年 ④中学生

### 《子育てセミナーについて》

問 1 本日のセミナーについて、講演の内容はいかがだったでしょうか？

- ① 大変よかった ② よかった ③ ふつう ④ よくなかった  
⑤ わからない

問 2 曜日の設定はいかがだったでしょうか？

- ① 平日でよかった ② 土・日がよかった ③ どちらでもかまわない

問 3 講演の感想またはご意見をお書きください（回答省略）

問 4 今後の子育てセミナーで聞いてみたいジャンルはありますか？（複数選択可）

- ① 家庭教育 ② 食育・健康 ③ 学校教育 ④ 組織運営 ⑤ 地域連携  
⑥ 広報活動 ⑦ 安全・安心 ⑧ 国際理解 ⑨ 人権教育 ⑩ 生活習慣  
⑪ 学力向上 ⑫ 携帯電話・インターネット ⑬ その他（フリー回答）

問 5 今後の子育てセミナーで聞いてみたい講師・内容はありますか？

### 《携帯電話について》

現在、小・中学校に在籍の一番上のお子様は、専用の携帯電話、スマホはお持ちですか？

- ① 持っている ② 持っていない

「① 持っている」とお答えの方にお伺いします。

●利用している SNS や機能は？（複数選択可）

- ① LINE ② Facebook ③ Twitter ④ メール  
⑤ ゲーム ⑥ 通話のみ ⑦ その他（ ）

「② 持っていない」とお答えの方にお伺いします。

いつごろ持たせるのが良いとお考えですか？

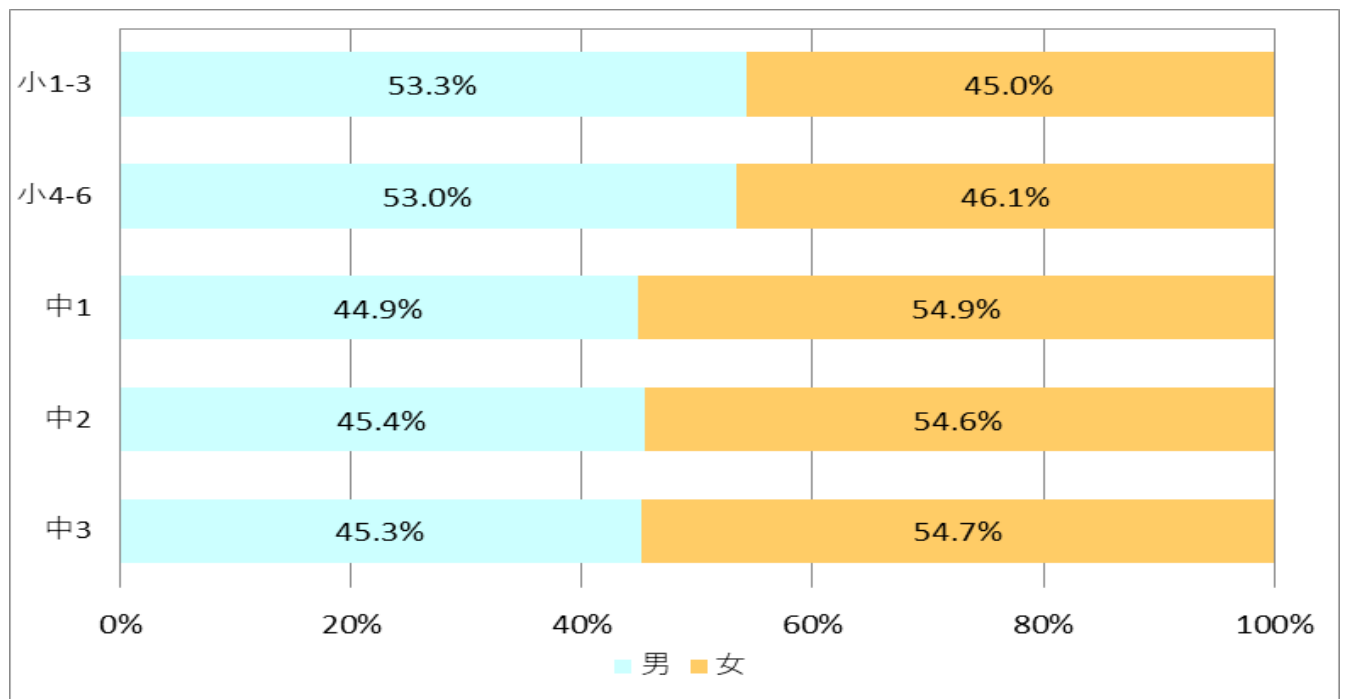
- ① 高校卒業時 ② 高校入学時 ③ 中学入学時  
④ 欲しいといわれたらすぐにも ⑤ 必要性を感じたとき  
⑥ その他（ ）

## Ⅱ 平成30年度 栃木県内25校のPTA会員 を対象とした調査結果

### 1 調査人数とお子さんの学年

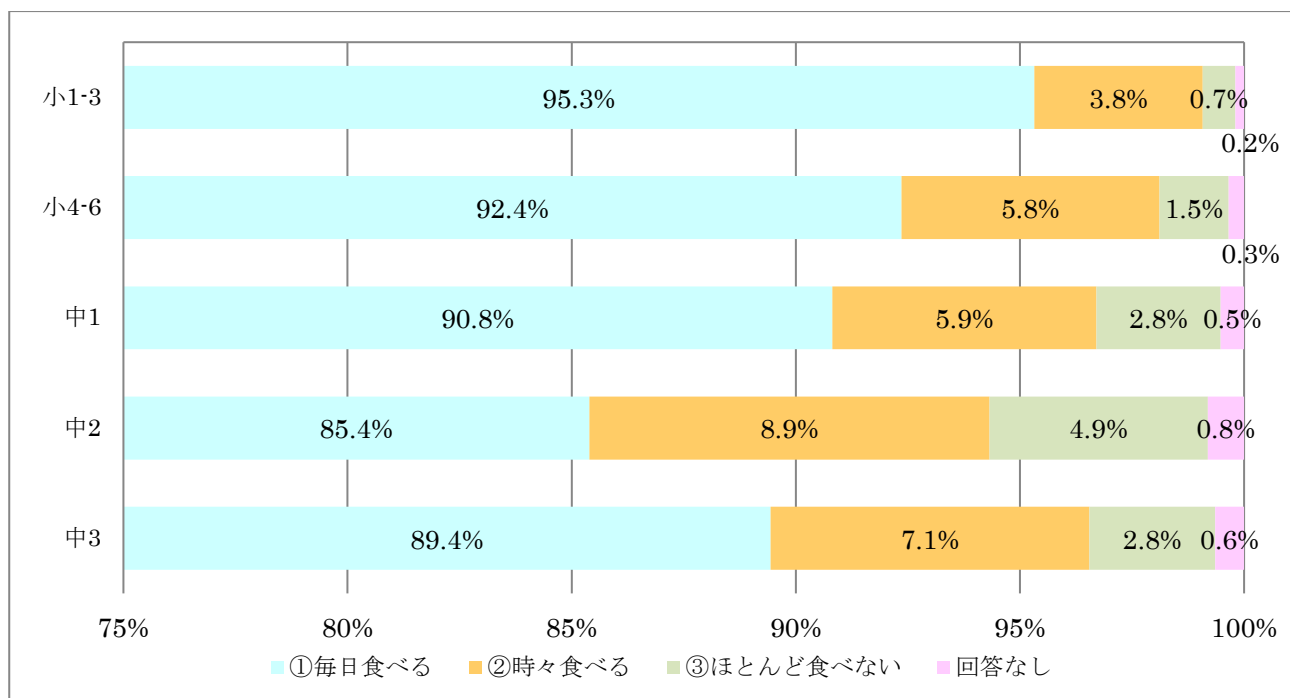
| 小学1-3年 | 小学4-6年 | 中学1年 | 中学2年 | 中学3年 | 合計    |
|--------|--------|------|------|------|-------|
| 1518名  | 1165名  | 577名 | 493名 | 464名 | 4217名 |

#### 問1 性別





## 問２ 朝ごはんを食べますか？



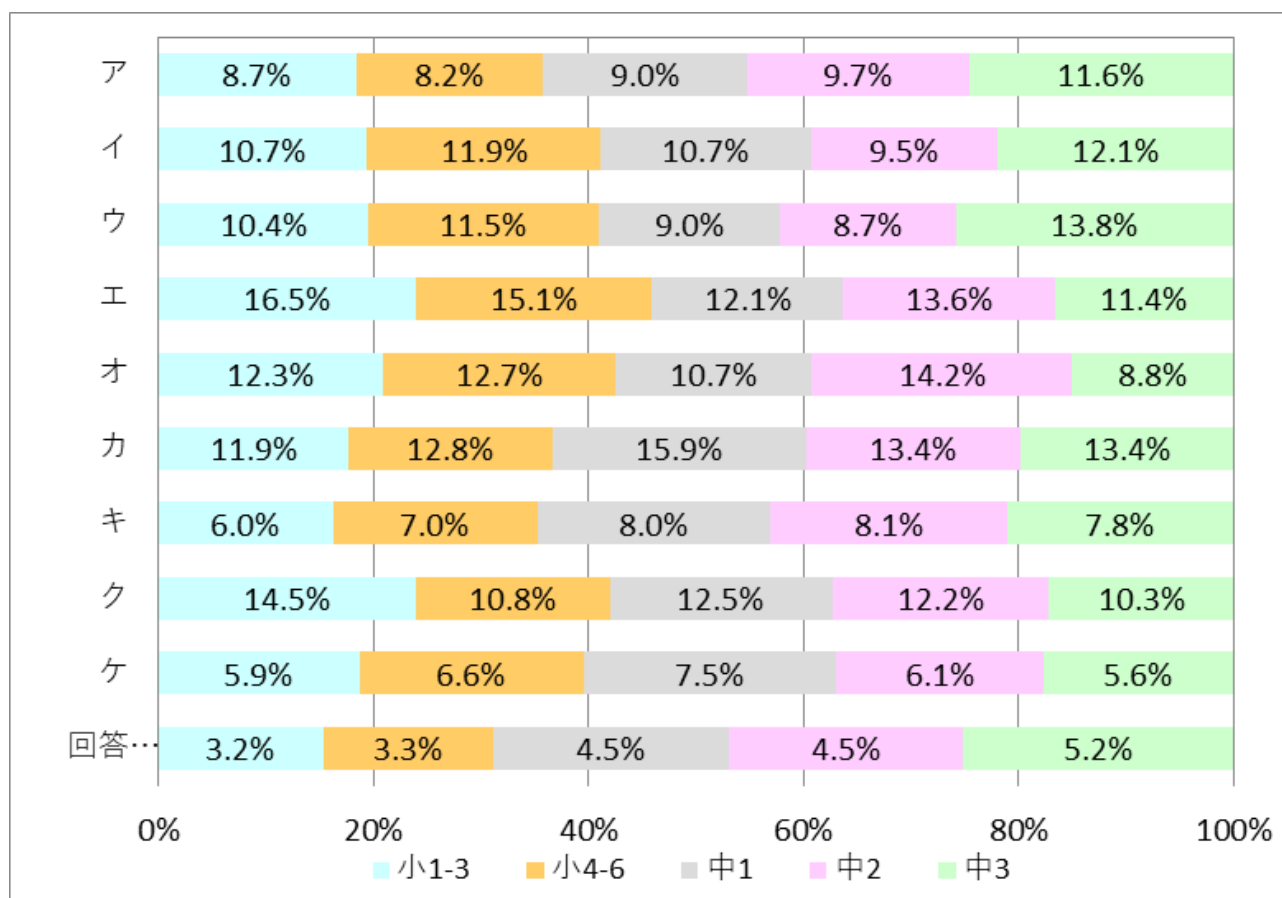
小学校低学年から中学３年生まで、平均して９０％以上の子どもたちが毎日朝ごはんを食べていることが伺えます。昨年同様の数値であり、県が推奨する食育が定着していると思われます。

この高い数値を維持しているのは、行政や学校が食事の大切さに力を入れているだけでなく、家庭にも朝ごはんの大切さが浸透していると考えられます。

そのなかでも、中学２年生において、朝ごはんを食べる割合の低さが顕著に表れています。その理由として推測できるのは、問８「家庭、塾等で学習に取り組んでいる平均時間は？」という設問の結果にも結び付いていると思われます。

生活習慣の見直しや、バランスの良い朝食が撮れるように引き続き家庭で考えていきたいものです。

### 問3 主にどのような内容の朝ごはんですか？

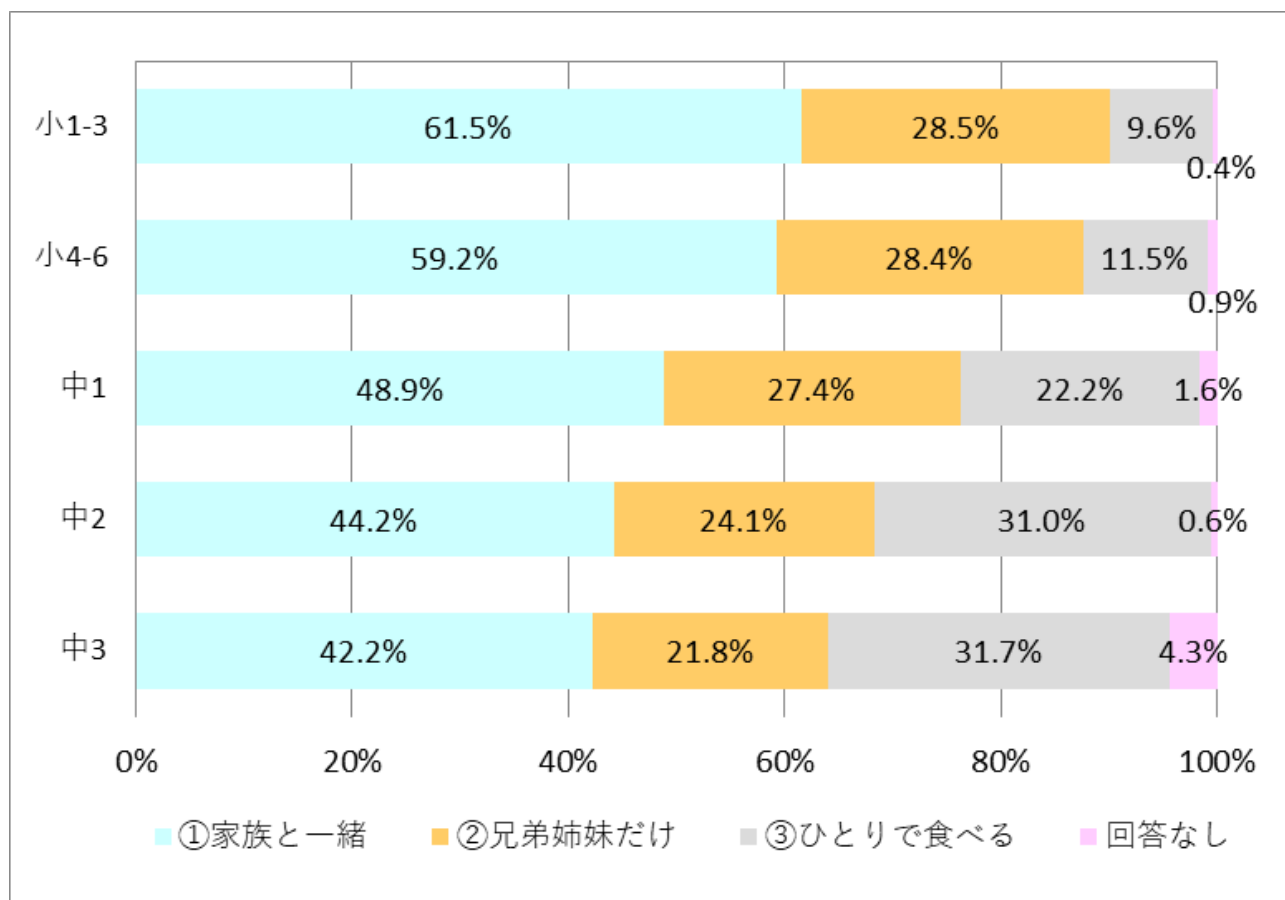


食事の内容を見ると、三大栄養素のタンパク質、脂肪、炭水化物がまんべんなく摂られていて、各家庭においても食への関心が高いことが現われています。

運動量が多い子どもたちにとって、朝ごはんでは炭水化物を摂る割合を高くする必要があります。逆に夕食は体を作るタンパク質を多く摂取するなど、生活に応じた食事の取り方も考えると良いと思います。

大人がバランス良い食事を考えるだけでなく、小学校低学年から子どもたち自身に食事の取り方を考えさせることで、大人になってからの生活習慣病の予防にもつながるでしょう。

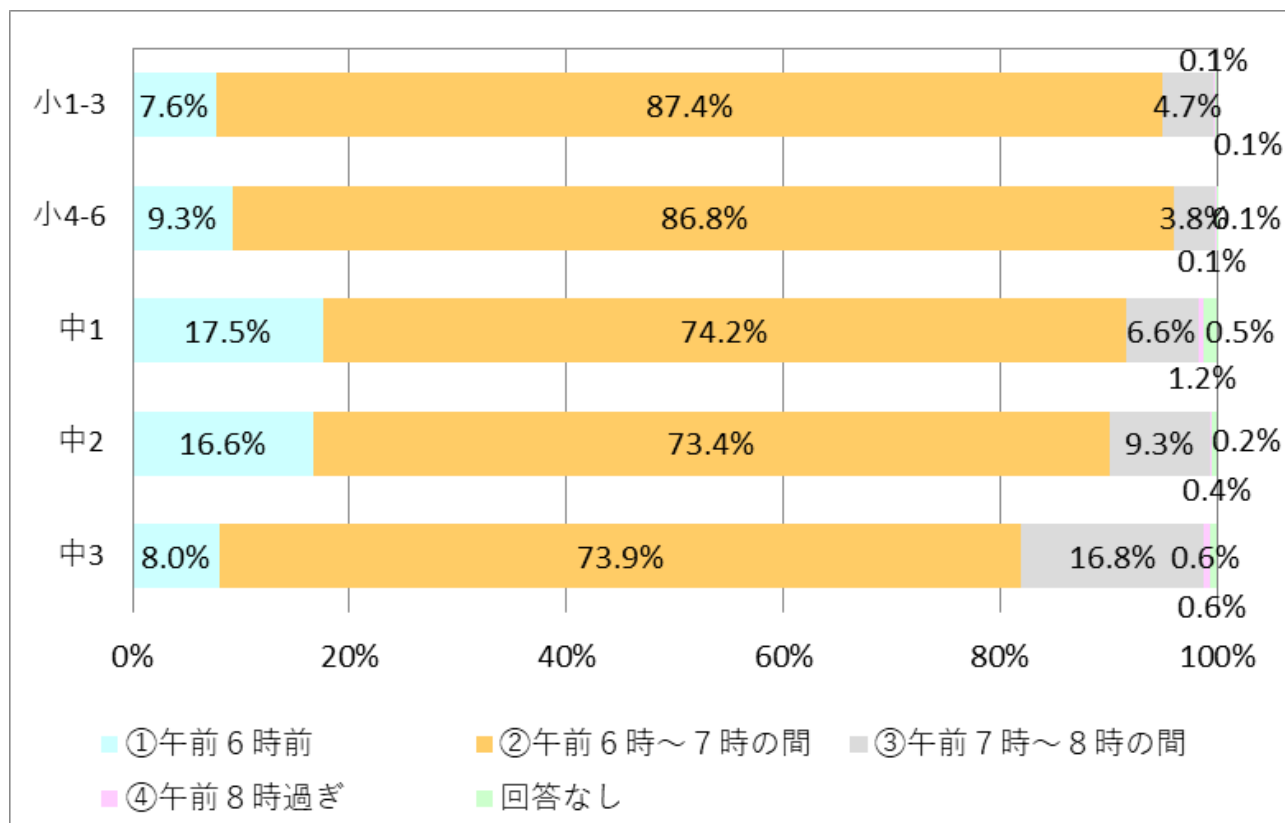
#### 問4 朝食を主に誰と一緒に食べますか？



朝食を食べる際、低学年ほど保護者と一緒に食べることが多く、高学年になるにつれ、1人で食べることが多くなってきています。

中学生になると、兄弟だけで食べる子どもたちと1人で食べる子どもたちを合わせた数が家族と一緒に朝食を食べるパーセンテージを抜いてしまいます。部活動や生活習慣の変化によることも大きく関わっているものと思われます。

## 問5 平日の起床時間

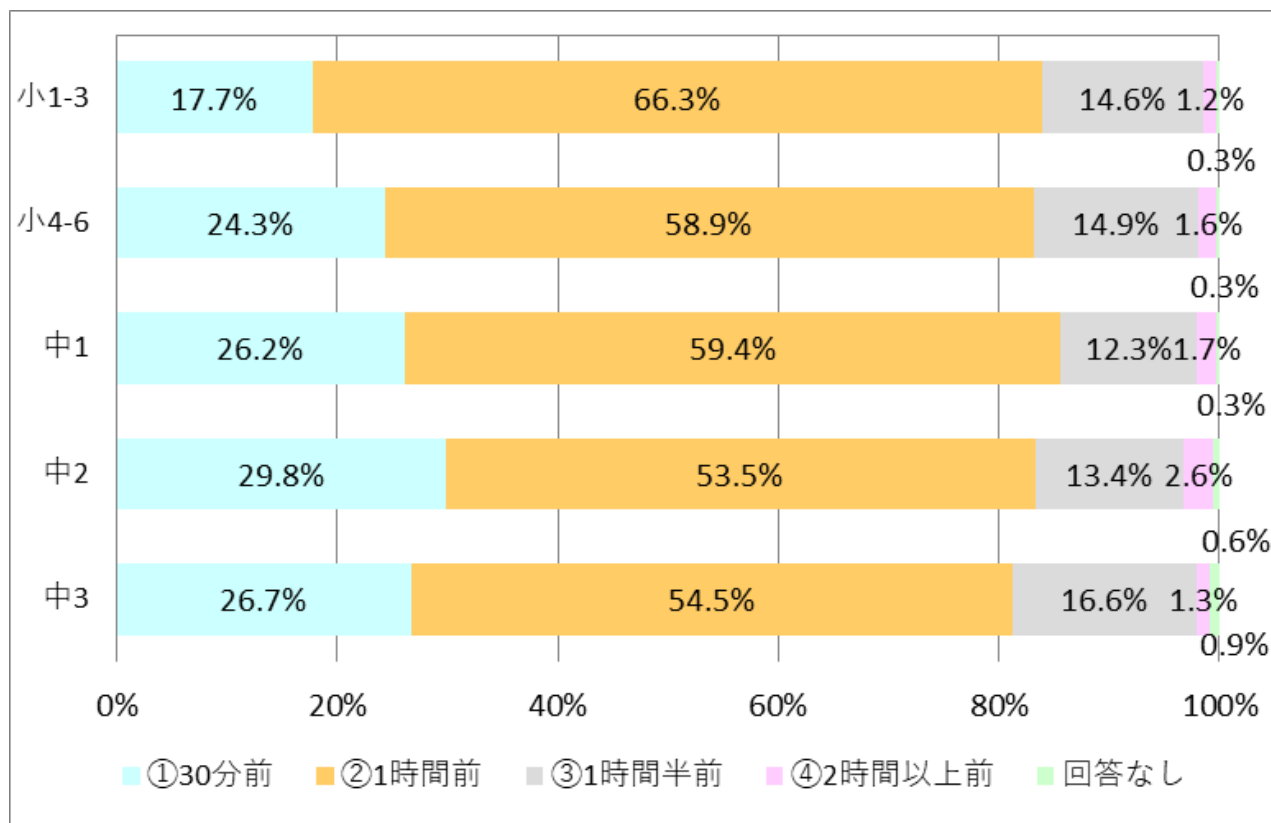


全体を通して、午前6時から午前7時未満の起床時間が約8割であり、早起きが定着しています。

また、2番目に多い起床時間を比較してみた場合、小学生が午前7時～8時未満、中学1・2年生は部活動の朝練等があり午前6時前、中学3年生は受験勉強等があり起床時間の遅れる傾向があるようです。

一般的に、起床し脳が活発に働きだすまでの時間は3時間以降といわれています。授業を、1時間目から集中して受けられるように、保護者と子どもが、一緒に起床時間について考え、早い時間の就寝、そして早起きの習慣を身に付けさせましょう。

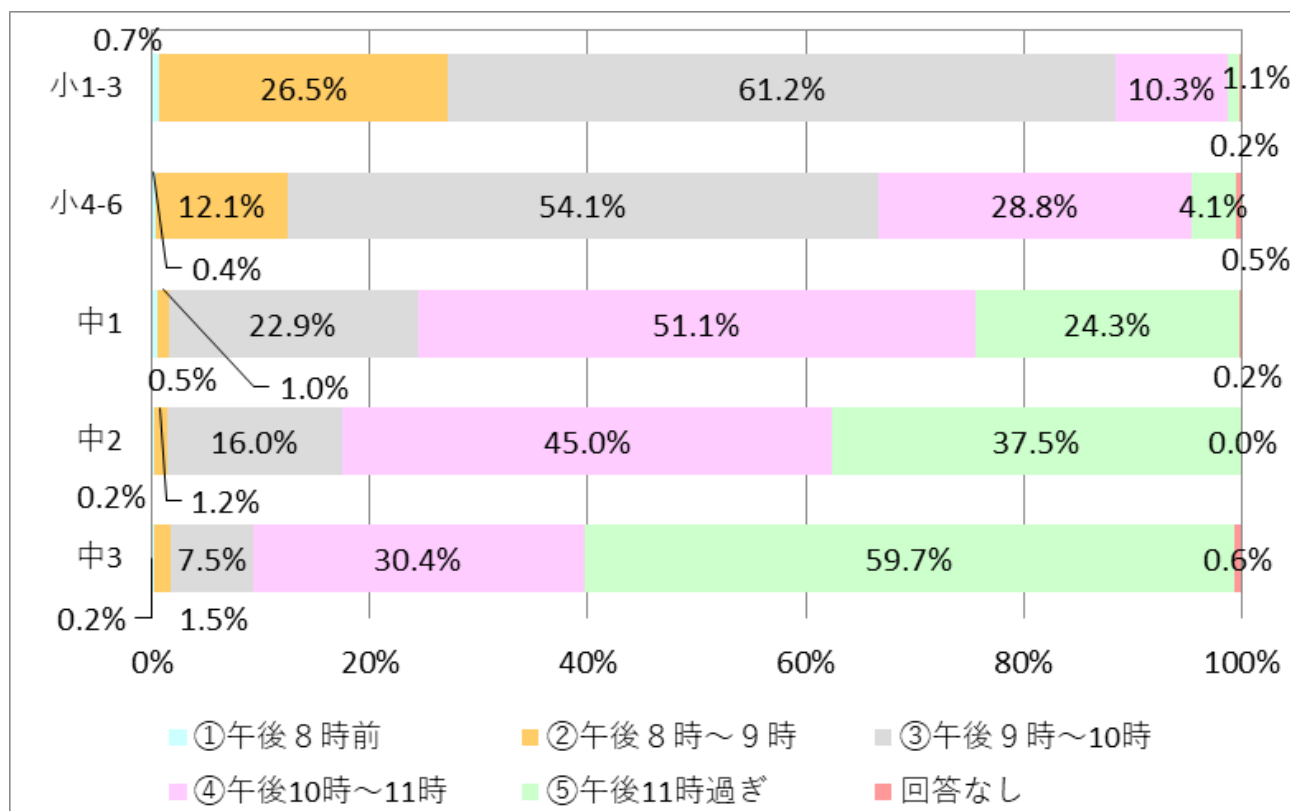
## 問6 登校する何分前に起きていますか



問5から午前7時以降に起きる子どもの割合が3.8～16.8%になっていましたが、問6から登校時間30分前に起床する子どもたちが17.7～29.8%います。急いで登校準備しているようです。登校30分前では、食事をして服装を整えて登校する時間がありません。

十分余裕のある時間、1時間前に起床できるように保護者の方々が気を使っただければと考えます。

## 問7 平日の就寝時間



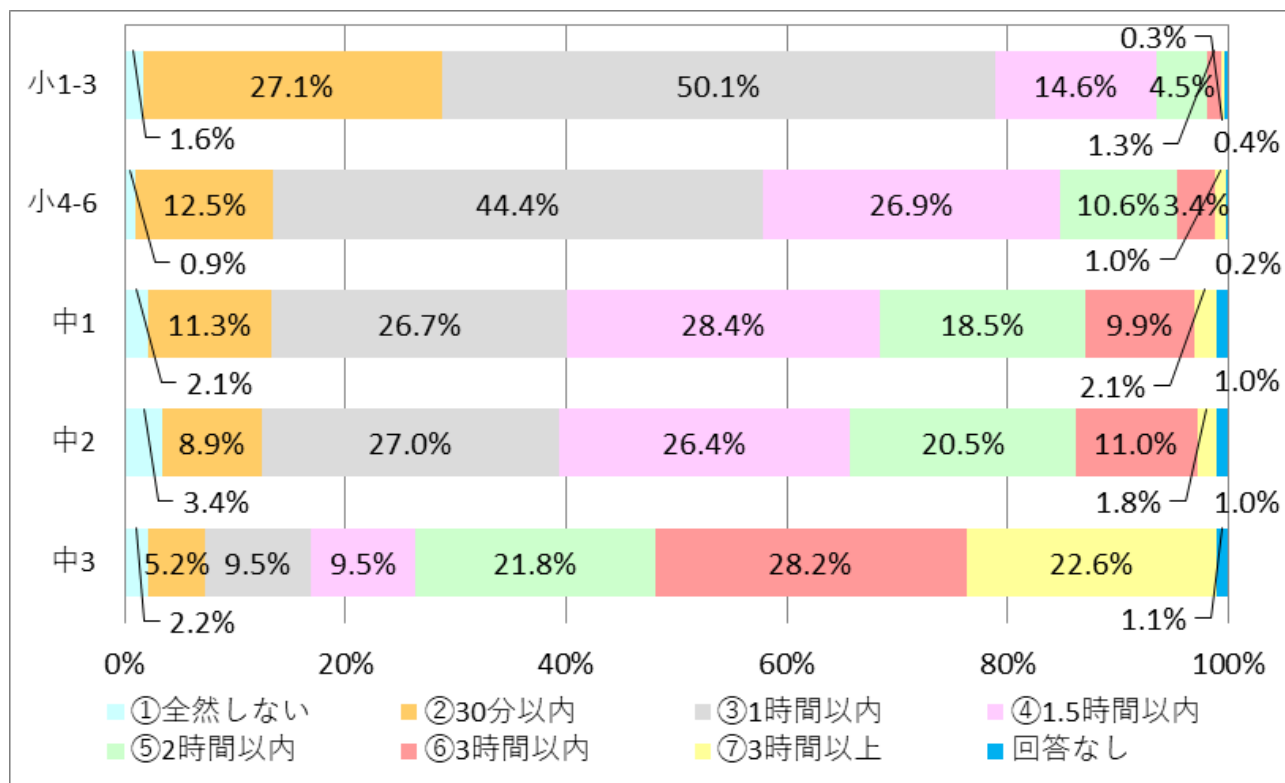
小学生では就寝時間は午後9時～10時未満の時間帯が半数以上を占めますが、高学年になると徐々に就寝時間が遅くなる傾向となる結果が得られました。

また、中学1・2年生は、午後10時～11時未満の就寝時間が約半数に対し、中学3年生では午後11時過ぎが約6割という結果が出ています。

中学生になると就寝時間が遅くなる傾向には、特に部活動や塾など家庭外での活動が要因と考えられます。

文部科学省が推進する「早寝早起き朝ごはん国民運動」では、生活のリズムをすることで子どもたちの自立と健全育成を推進する効果があるとしています。毎日ベストコンディションで生活ができるように、就寝時間について家庭内で話し合ひましょう。

## 問 8 学習に取り組んでいる平均時間



栃木県内の小学生の学習時間は『学年×10分+10分』、中学生は『学年+1時間分』と一般的にとらえられています。

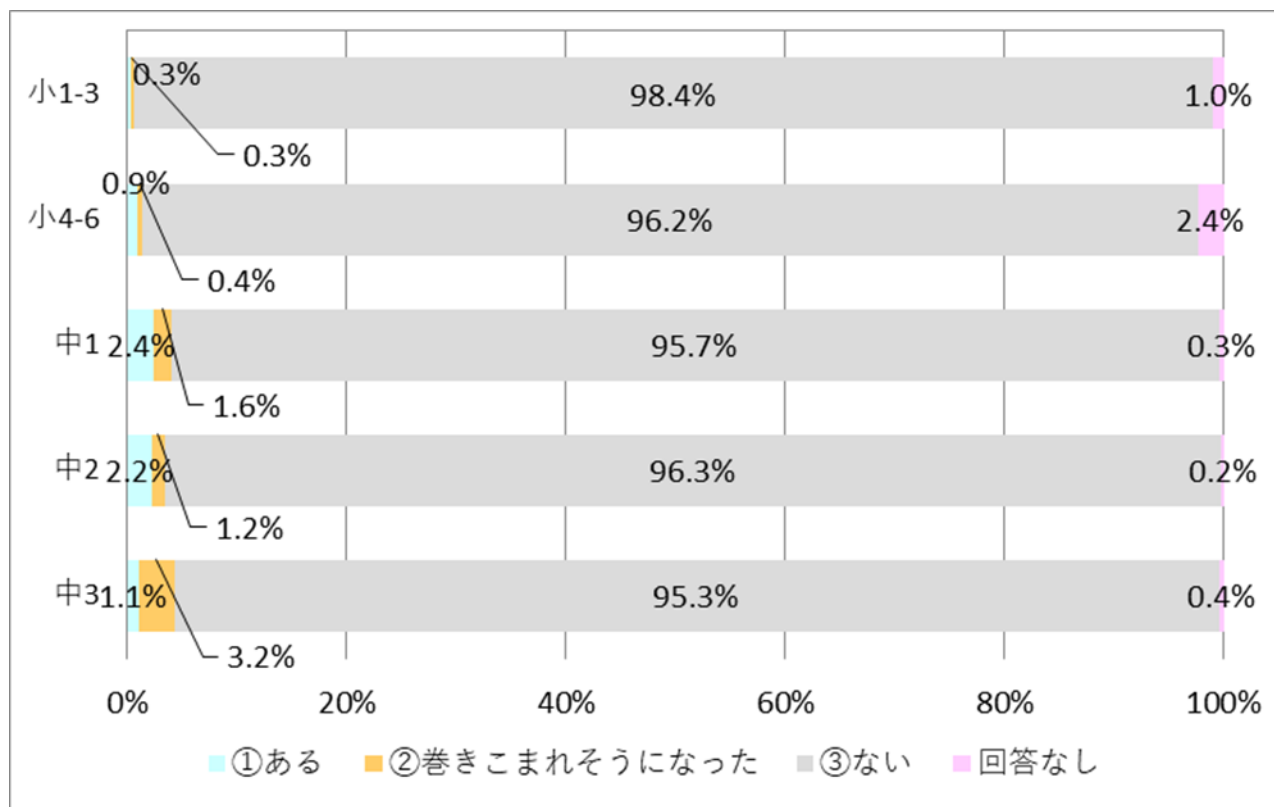
小学校低学年と高学年の差が大きいことから、成長のあらわれを感じられます。低学年は学習習慣を身に付けさせる大切な時期でもあるので、親の意識が大切だと思います。高学年になるにしたがい、1時間以上と1.5時間以上を合わせると70%以上を占めており、ベネッセ教育総合研究所が2014年10月に発表した「小中学生の学びに関する実態調査」※1においても同様な傾向が見られ、全国と比べても遜色ないと考えられます。

中学1・2年生になると1.5時間以上が過半を占め、3年生では1時間以上が80%を超え、さらに2時間以上が50%以上と一気に増えていることがわかります。その中で僅かではありますが“全然しない”中学2年生が多いことがわかります。これは年頃による要因もあるとは思いますが、全国と比較すると栃木県は“全然しない”が少なく、学習に対する意識は高いと思われます。

全学年を通して、全国との大きな差は見られませんでした。これは高度に成長したマスメディアや情報流通の影響で保護者の意識に、地域差が見られなくなったものと考えられます。

(小学生でも各種クラブ活動はありますが) 中学生になると部活動も始まり、通学時間も長くなり、思春期でもあり、さらに勉強時間が増える(受験を控えているという実情)。ことから身近な目標を設定することで、自分を動機づけられるよう睡眠と食事、そして心身両面での家族の支えが大切だと考えます。

## 問9 ネットトラブルに巻き込まれたことがあるか



ネットトラブルが「①ある」「②巻き込まれそうになった」は、全体の4217名中85人でした。何らかの形で2%の人が被害にあっていることになります。傾向として小学生から中学生になるにつれて増加しています。

中学生では「①ある」1.1%と「②巻き込まれそうになった」3.2%を合計すると4.3%になっています。中学になると携帯電話の普及率も高くなり増加していると考えられます。

トラブルの内容は課金、架空請求に巻き込まれそうになった、知らない間にSNSに投稿されていた、Line上で悪口を書かれた等々、ネットトラブルの一般的な問題に巻き込まれたりしています。Line上の投稿、書込みの悪口から登校拒否、自殺等まで発展していく危険さもあります。

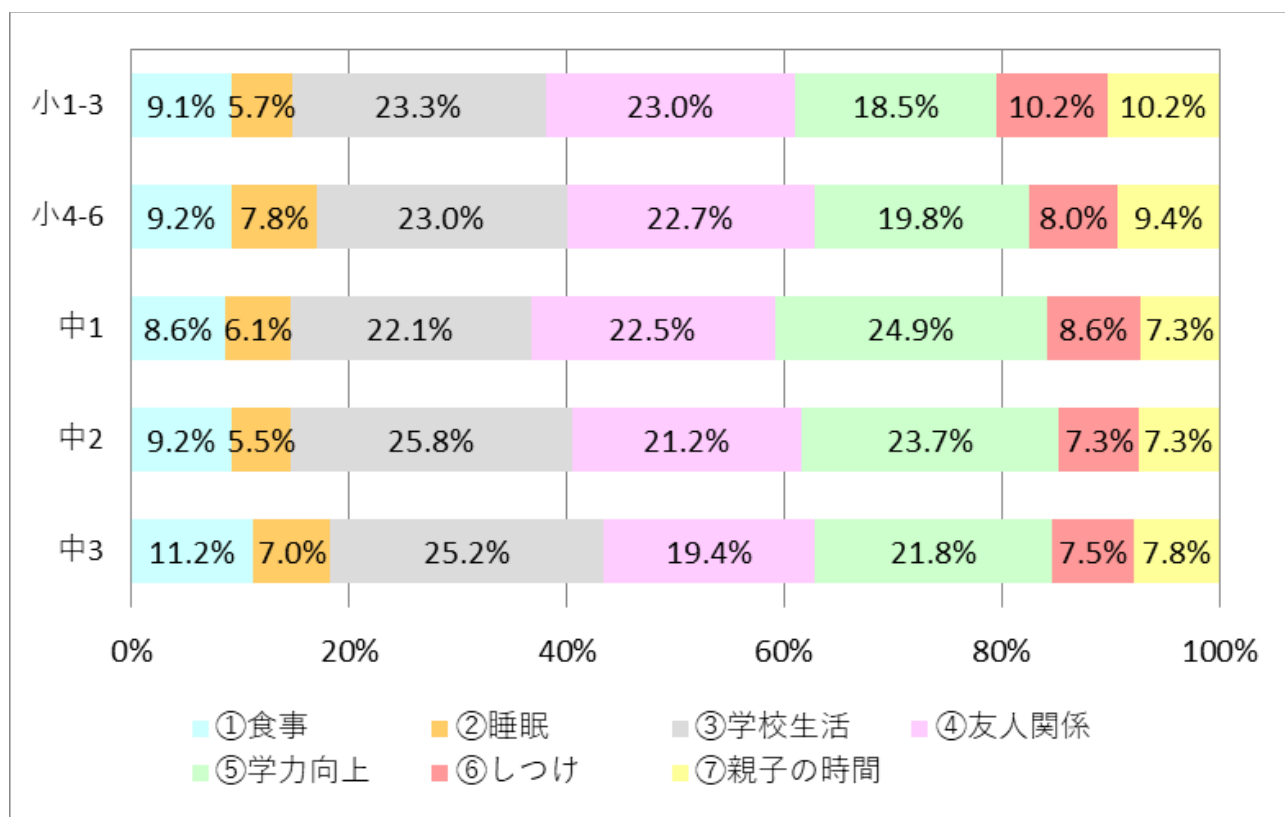
Lineを含めたSNSへの安易な書き込みから、ネットトラブルの発生につながる恐れがあるので注意が必要です。

ネットトラブルに関しては、すでに小学校でも授業の一環として教育していますが、家庭において親子でトラブルに関してさらに勉強する必要があると考えます。



## 問 10 PTAの取り組みで関心があるもの（複数可）

### （1）基本的生活習慣・家庭教育

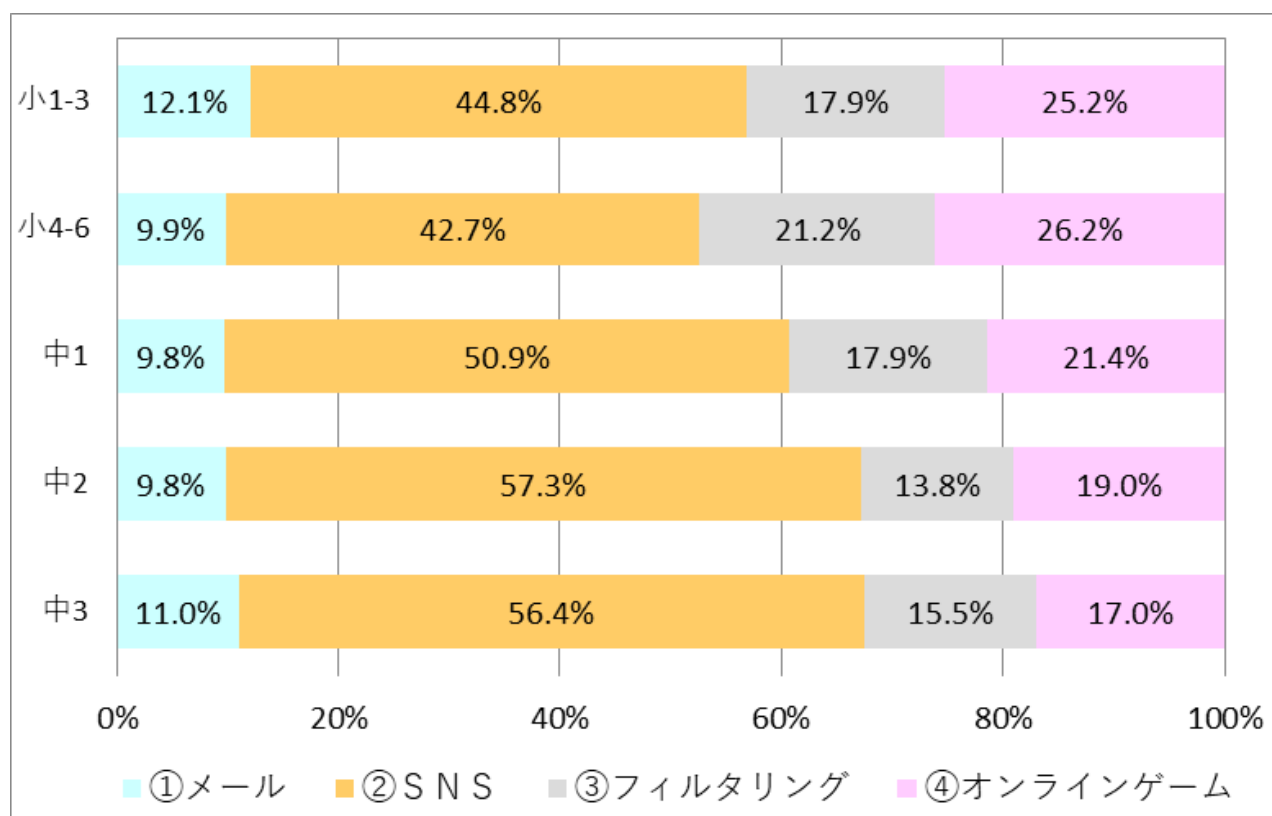


どの学年でも「学校生活」「友人関係」「学力向上」の回答が多く、親の目の届かない学校での子どもの過ごし方に関心があるということがわかります。それだけ学校への期待も大きく、これまで以上にPTAと学校との情報交換を密にしたいという願いが結果に出ているのだと思われます。

さらに、小学生から中学生に変わる時期に学力向上への関心が19.8%から24.9%へと大きく変化していることが確認でき、高校受験の準備期間となる中学校への進学がきっかけとなって、勉強に対する意識が高まるからではないでしょうか。

「しつけ」「親子の時間」は小学生で関心が高いですが、中学生になると低下がみられます。これは中学校に入ると、部活動など子どもたちの家庭外での活動時間が増えることが一因なのかもしれません。

## （２）携帯電話・インターネット

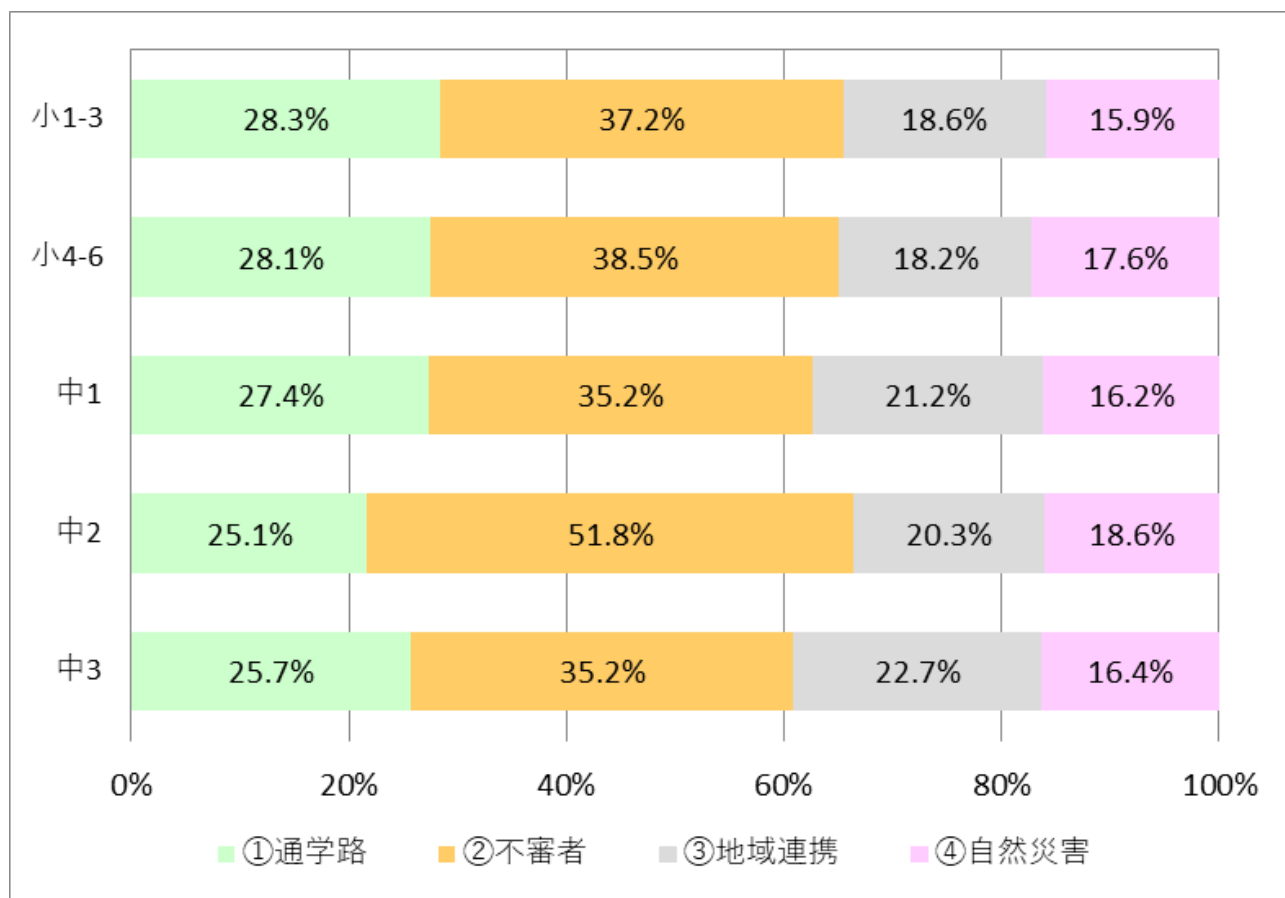


携帯電話の所有率は小学生では約２割、中学生では約７割となっています。（子育てセミナー2018 アンケートより）

インターネット社会と言われている現代では、どの学年でもSNSへの関心が高いことがわかります。さらに、さまざまな端末（PC、タブレット、ゲーム機など）があるため、低学年でもインターネットが自由に利用できる環境下にあります。

オンラインゲームの利用は学年が上がるにつれ減少していますが、子どもたち同士や知らない人との間で行われていることを考えると、使用ルールについて家庭での話し合いや学校での指導が常に必要だと考えます。

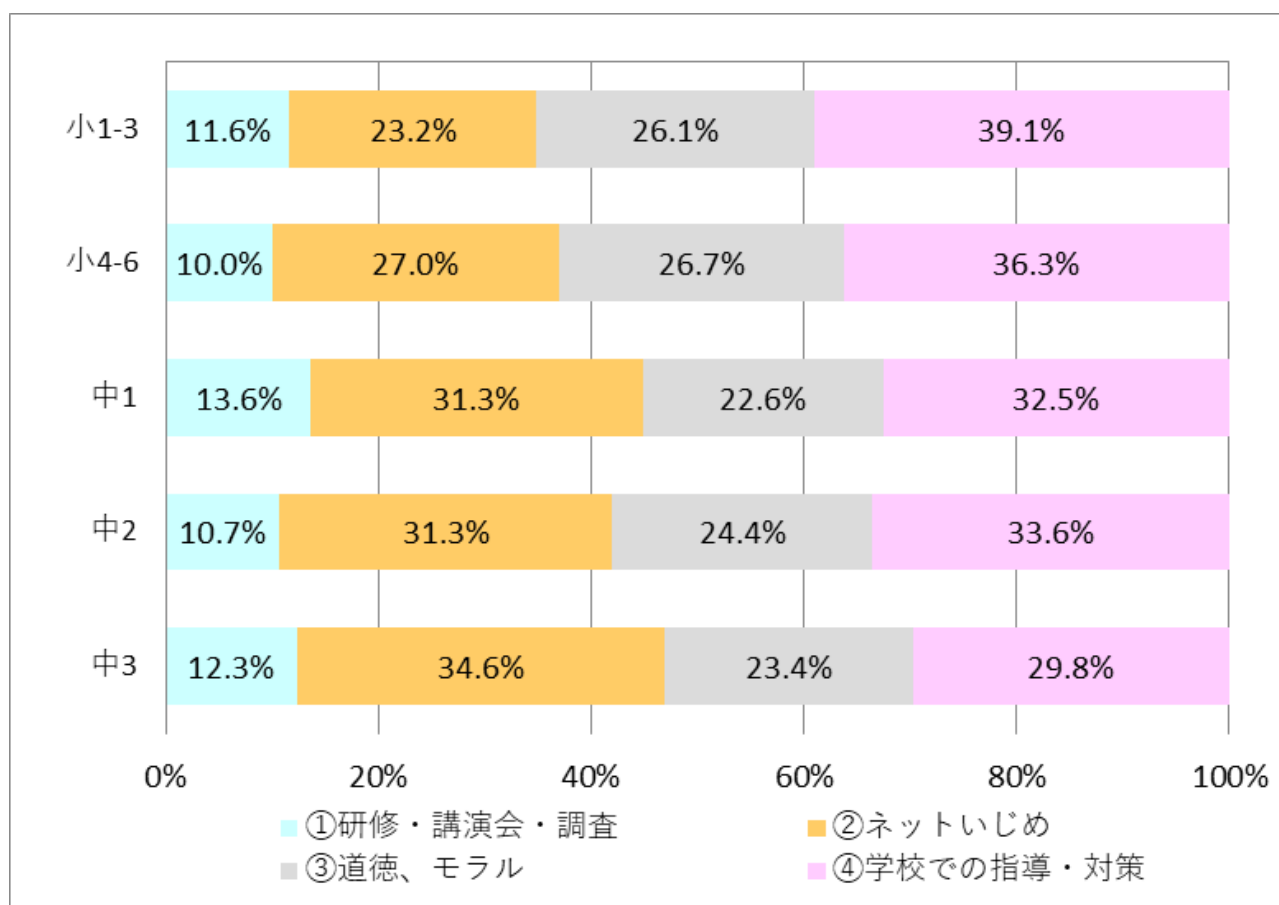
### (3) 安全・安心



「通学路」「不審者」への関心が半数以上を占めています。特に中学2年生においては、「不審者」が51.8%と一際目立った結果となりました。通学において保護者が抱える問題の表れだと考えます。しかし、「通学路」や「不審者」に関しては保護者や学校だけでは対策に限界があります。「地域連携」への関心が2割もあるのはそのためだと思われます。

保護者や学校だけではなく、地域も一体となり、子どもたちの安全を守っていかねばなりません。保護者・学校・地域の連携を一層強化し、子どもたちが安全に安心して通学できる環境を構築することが必要だと考えます。。

#### (4) いじめ問題

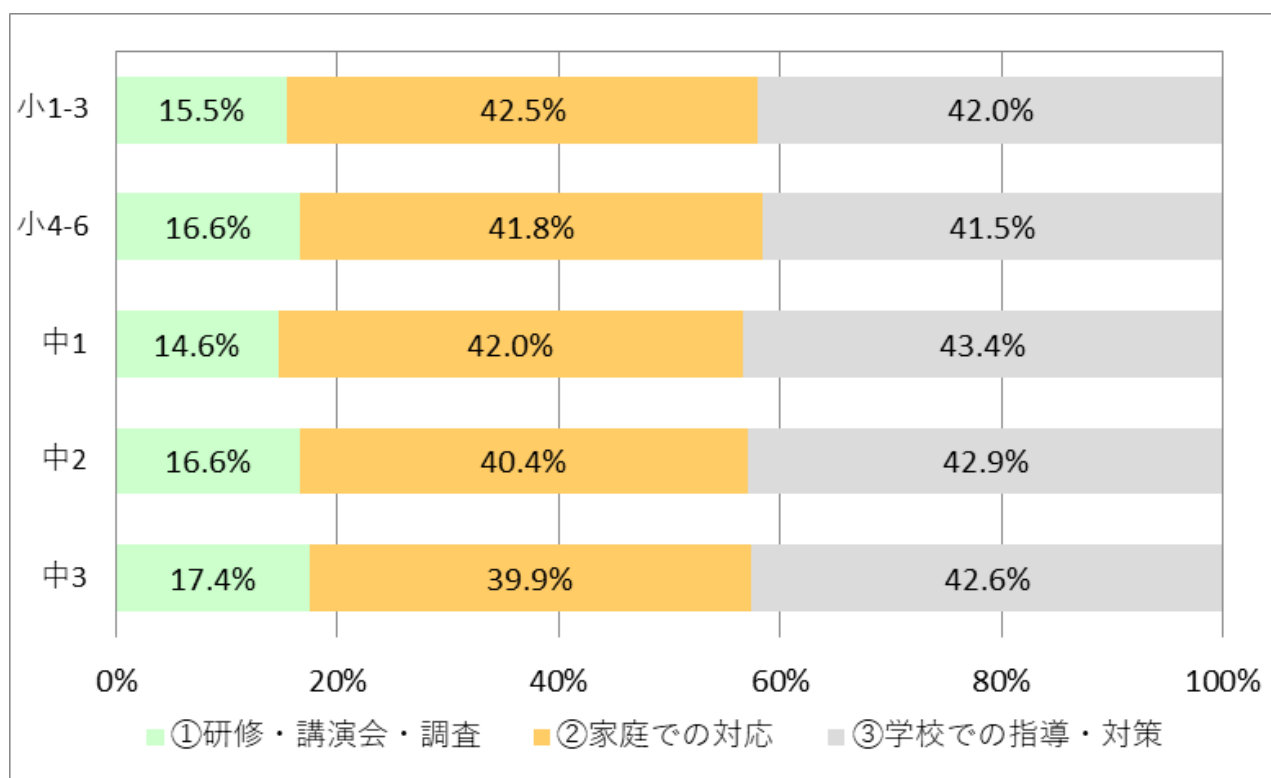


小学生では、いじめ問題を学校での指導・対策によって早期対応することへの期待を感じることができます。

中学生になると、携帯電話やタブレットなどを持つ子どもが増え、ネットいじめへの関心が3割と高くなっており、これは情報化が進み、インターネット利用者が増加したことに伴うものだと思います。

保護者だけでなく子どもたちにも、SNSといじめ問題の関係性についての講演会や研修を行い、保護者と子どもたちのネットリテラシーを高めていかなければなりません。

## (5) 不登校・ひきこもり



どの学年でも「家庭での対応」「学校での指導・対策」が8割を占めています。

しかし、中学生になると思春期を迎え、保護者だけでは対応できなくなっているのではないかと考えられます。普段から親子でコミュニケーションをとることで、子どもの小さな変化も見逃さないようにしていくことが大切なのではないでしょうか。

さらに、家庭と学校が一体となって、この問題に対してしっかりと連携をとっていくことが重要だと思われます。



### ロゴマークの意味

IJIME 0 (いじめゼロ) の頭文字 I・J・M・O を意匠化しました。二人の子どもが向き合い、ほほえみを交わしながら、大切な芽を共に育てていく姿がモチーフです。芽は、子どもたちの「友情」を表しています。  
(作者の創作の意図より)

# Ⅲ 平成30年度 「子育てセミナー2018」 の参加者を対象とした 調査結果

## 子育てセミナー2018

「レモンさんが伝えるカッコいい大人」  
～愛言葉は We are シンセキ～

日時：2018年11月8日（木）  
13：00～15：30

場所：栃木県教育会館大ホール

講師：レモンさん（山本シュウ）氏



レモンの被り物で笑いを交えながら講演するレモンさん

### 【講師プロフィール】

1964年、大阪府門真市出身。別名「レモンさん」。合言葉は「We are シンセキ!」。大きなレモンの被り物をし、「レモンさん」というキャラクターで、小学校のPTA会長を5年間務め、その後もPTA顧問を続けている。「TBSラジオ全国子ども電話相談室・リアル」のほか、NHKEテレ、JFN全国38局ネットなどの番組で活躍中。

また、大阪大学で「教職論」を教えて12年目になります。

# 1 講演内容

## 【今？】現状を分析し、理解すること

### 1. コミュニケーション崩壊

思春期と更年期のまさにホルモンバランスの違いによる感情の相違であり、家族間のコミュニケーションが上手にとれない。

### 2. 個人・孤独・孤立＝自分だけ

時代とともに人と人とのつながりが薄れていき、家族を含めた周囲の人々との関わりが、やがて家族だけとなり、そして、自分だけになっている。

3. 愛と絆 つながり＝リソース（武器）になる人は「助けて」と言える権利があり、人とのつながりが、さらにその人を通してつながっていく。

## 【今後】現状を理解したうえで、これからすべきこと

### 1. コミュニケーションの3ステップ

①聴く 話をきちんと聞く、途中で遮らない、②確認 話を分かろうとすることで、相手が「この人は話を聞いてくれる」と信頼関係が生まれる、③同調 「そういう状況ならそうするかも」など、相手の気持ちを汲み取る。

①話す まずは相手に上手に伝えることを心がける、②確認 自分の想いがどこまで相手に伝わっているかを確かめる、③気付かせる 自分が言っていることを相手に分かってもらう。

### 2. 心の中の昭和のICチップ（昭和的なよくあるもの）

①すぐ感情的になる、②人の話を聴かない、③絶対自分が正しい、④極端、⑤上から目線、⑥すぐダメ出しをする、⑦すぐ悪者を作る、⑧すぐ対戦モード、⑨相対評価→絶対評価、兄弟、他人と比較せず、昨日の、昨年のその人と比べてあげて！、⑩男尊女卑→性別にとらわれず自分らしく。

### 3. ワークショップ（2の①～⑩を踏まえて実際にやってみる）

イラッとしたときは「シンセキ」を付ける。怒るのではなく「何か事情があたりで？」と返す、「～と思うけど」など、自分も子どもの頃は決めつけられるのが嫌だったのに、いつの間にか自分がそうになっている。「～と思うけど」という言葉を付けるとやわらかい表現になる。

## 【子育て／人育て／自分育て】親として、人として成長するために

工夫（仮説）し、実行（チャレンジ）することで、結果として成功も失敗もある。内容を振り返

り、フィードバックをする。失敗は学びである。（失敗は成長の素）く・じ・け・な・い成長サイクル。

## 【PTA】メリットとこれから目指すべき姿

PTAの5つの得は、①情報、②会話（コミュニケーション）、③友人・知人＝地域（つながり）、④感動、⑤愛である。

また、大変といわれるPTAを改革する「5個直す」（ゴゴナオス）ことで活動しやすくなる。「ゴ」合理化し、無駄を省く、「ゴ」効率化を図り、最小エネルギーで最高のパフォーマンスを発揮する、「ナ」長屋化し、力を合わせ、一人の負担を減らす、「オ」おおらかになり、怒らない、冷静に優しく、「ス」スマイルで楽しくする工夫。

チーム作りの5つのポイントとして、①安心・安全の場所づくり（何でも言える）、②否定しない！（でも＝but→そうしたら＝and）、③怒り・文句（お尋ね→どうしたらいいかな？）、④本音でポジティブ、⑤信頼の5つ星。

信頼の5つ星とは？

①理解者とは、分かってくれる人、②支援者とは、応援してくれる人、③信者とは、信じてくれる人、④承認者とは、認めてくれる人、⑤指導者とは、気付かせてくれる人・引き出してくれる人。

学校とは、幸せになるために「生きる力」を身に付けさせるところである。挨拶とは、愛を察することであり、お陰様（陰の存在・様々な人のお陰で今の生活がある）という、人との関わりはとても大切なことである。

思春期の体は二次性徴によりホルモンバランスが崩れ、イライラしたり、不安になる。

また、心は自我の目覚めとともに反抗的になる。しかし、実は反抗しているのではなく、それは自分の意見を言いたい時期だということ。

以上の内容の講演であり、難しい内容のように思えますが、行動するにはとても簡単なことでした。笑いを交えながらサラリと話すレモンさんのお話には、「なるほど」と納得し、心に沁みるものでした。これからの子育てに必ず役に立つ貴重な1日になりました。参加できなかった皆さんもぜひ、1つずつ実践してみてはいかがでしょうか？

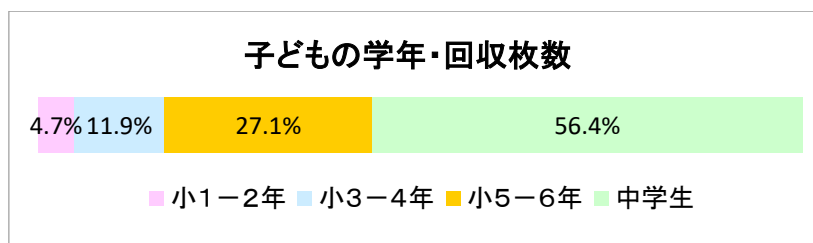
（出典）とちぎPTA新聞198号より

## 子育てセミナー2018 会場アンケートより

### ・調査人数とお子さんの学年

参加者 約700名

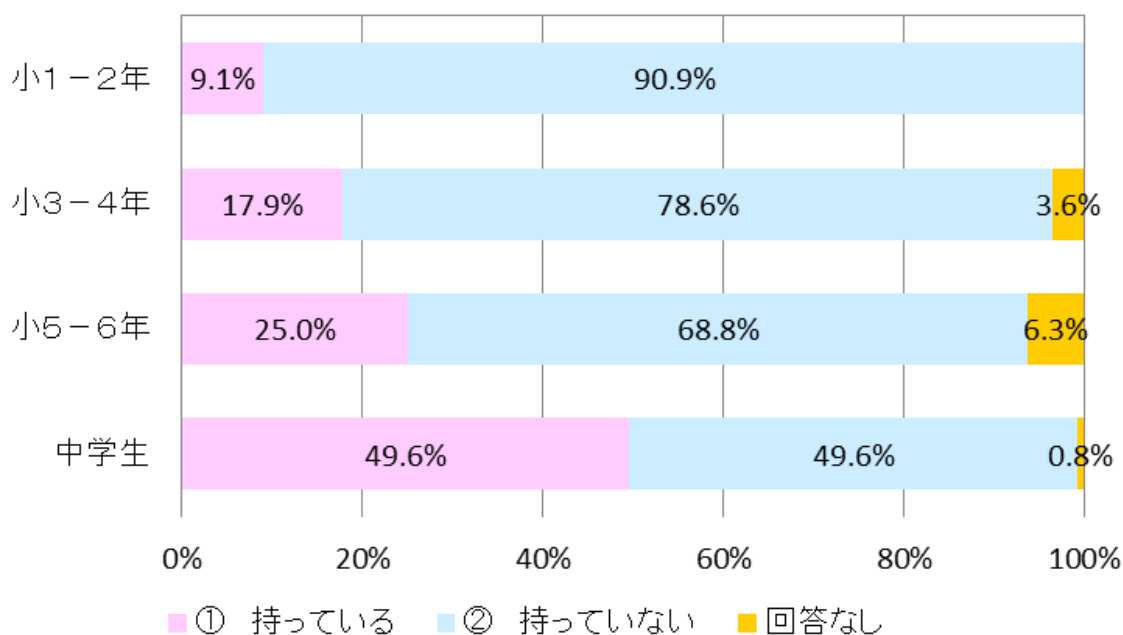
| 小学1・2年 | 小学3・4年 | 小学5・6年 | 中学生   | 合 計   |
|--------|--------|--------|-------|-------|
| 11 名   | 28 名   | 64 名   | 133 名 | 236 名 |



### ・携帯電話について

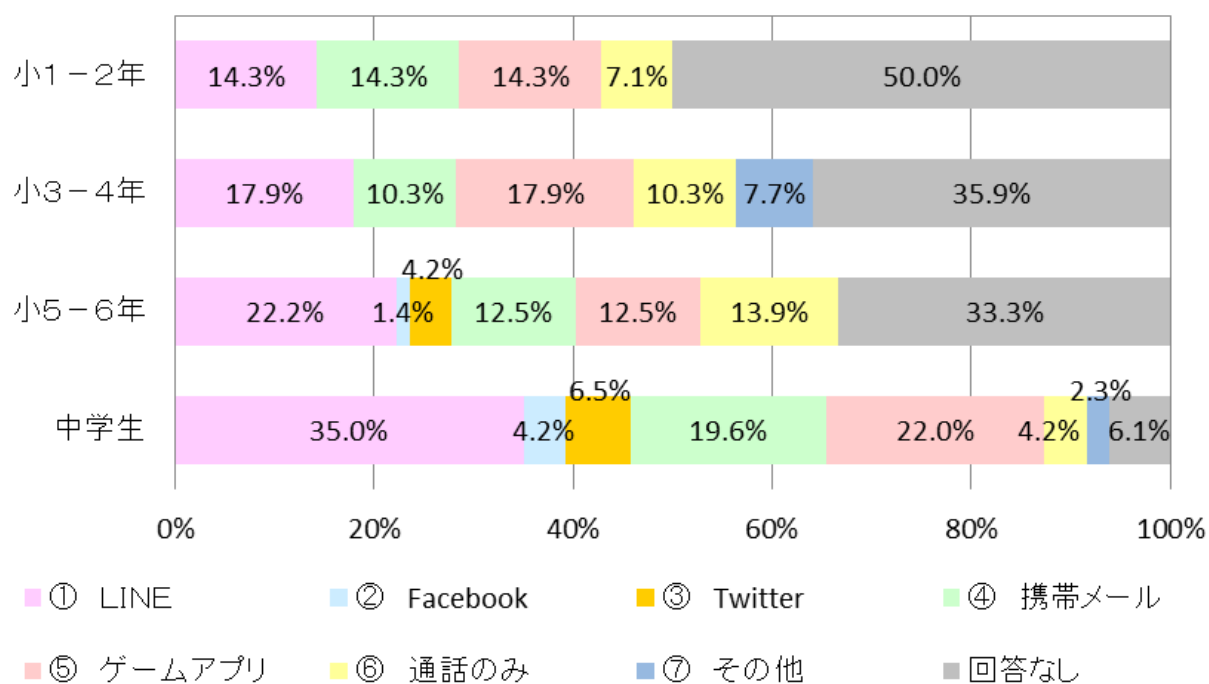
- (1) 現在、小・中学校に在籍の一番上のお子様は専用の携帯電話はお持ちですか？  
 ①持っている ②持っていない
- (2) 利用しているSNSや機能は？（複数選択可）  
 ①LINE ②Facebook ③Twitter ④メール ⑤ゲーム ⑥通話のみ ⑦その他
- (3) 「②持っていない」とお答えの方にお伺いします。いつごろ持たせるのが良いとお考えですか？  
 ①高校卒業時 ②高校入学時 ③中学入学時 ④欲しいといわれたらすぐにも  
 ⑤必要性を感じたとき ⑥その他

### お子様は専用の携帯電話はお持ちですか

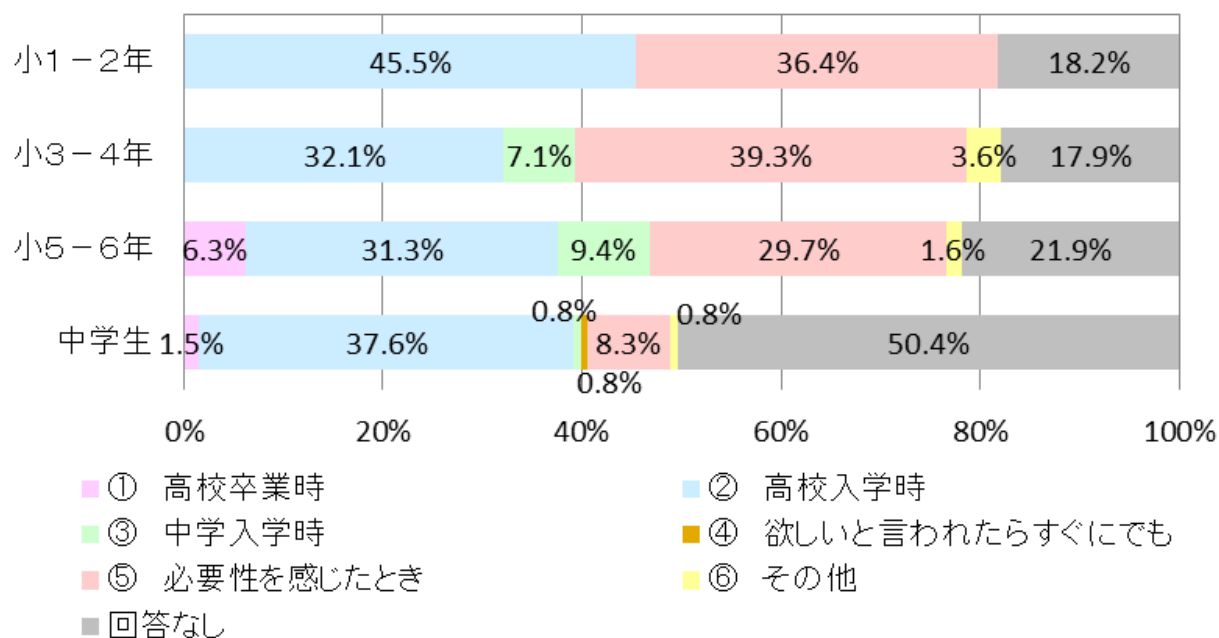




## 利用しているSNSや機能は



## いつごろ持たせるのが良いとお考えですか



## 携帯電話について

子育てセミナー2018参加者の回答から、携帯電話の所持に関して、家庭でさまざまな検討がなされていますが、中学生が半数所持している結果が確認されました。

中学1～3年生が全体で半数なのか、あるいは中学高学年になると皆所持しているのかわかりません。

小学生では、「中学入学時に持たせる」と答えた方よりも、小中合わせて「必要な時に持たせる」と回答した人が多くいました。これは、中学時の所持率の向上につながるかもしれませんが。小学生で「持っている」との回答の合計は15名ですが、SNSの利用者数はこの人数を上回っています。これは保護者の方の携帯を利用してゲームやインスタグラム等の視聴をしていると思われます。また、携帯メールの利用も高学年に上がるにつれて多くなっているのは、携帯利用の増加につながっていると考えられます。

保護者の携帯を使っている場合、保護者が時間のコントロールができます。しかし、個人（子ども）で所持し使用することになると、コントロールが難しくなります。

所持する場合、使用時間のコントロールを含め親子で話し合い、早めに利用のルールを決める必要があると考えます。

また、携帯所持率が上がるにつれて、ネットの危険性、携帯への依存性等の被害、ネットのいじめ等から、子どもたちを守らなくてはなりません。

学校等においてはネットの危険性の教育、いじめ等の対策に関して、保護者と学校等で協力して、安全に携帯を使える工夫をしなくてはならないと考えます。

携帯、タブレット等では、ネットを使っているいろいろなことを調べることができ、友達との連絡等、さまざまな良い使い方もあります。

使わせないのでなく、親子で協力して安全に取り扱う取組みをしていかななくてはならないと考えます。また、「通話」が小学3～4年生で「36.7%」、小学5～6年生で「44.0%」と多く利用されているのに対し、中学生では「6.5%」と大幅に減っています。これは、中学生の「LINE」利用が「40.7%」と小学生の倍に増加しているためと考えられます。グラフからも中学生ではSNSやアプリの利用が7割を超えていることが分かります。

学校等でネットの危険性に対する教育が進むなか、常に携帯を所持していないと不安になる依存症や親の把握できない交友関係が引き起こす事案も増えており、持たせる必要があるのならば、親子で話し合っ規則を決め、保護者が利用状況を共有把握できる環境下で、子どもたちに上手に使わせていくことが大切だと改めて思います。

## Ⅳ 「いい親の日」宣言

平成18年12月に改正された教育基本法に「子どもの第一義的責任は保護者にある」と記され、家庭教育力向上のためのさまざまな取り組みがなされております。

高度情報化、グローバル化、それに伴う価値観の多様化など、社会の変わりようは我々保護者の子どもに対する関わり方に大きな変化をもたらしており、私たちはこれらに対しさらなる奮起が求められております。

これまで私たち栃木県PTA連合会は親の学びの大切さを訴え続け、長年にわたり子育てセミナー等を通してその学びの拡充を図ってまいりました。

そこに一定の成果を残すものの、それを上回る速度でさまざまな問題が次々と発生しており、学校に任せきりの現状を打開することが喫緊の課題となっております。

ここに改めて教育責任の分担確認と保護者の資質向上のため、11月8日を「いい親の日」と制定いたします。また、毎月8日を「親の日」とし、下記の指針を示します。

- 一、子どもを大切にします
- 一、家族団らんの時間を持ちます
- 一、おとな自ら規範を示します
- 一、正しい生活リズムをつくります
- 一、人の悪口を言いません

この冊子の内容を無断転載することを禁じます

令和元年5月発行

栃木県PTA連合会

320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番地6号

栃木県教育会館内

TEL 028-622-2833

FAX 028-622-2834

URL <https://www.tochigi-pta.gr.jp>